

第6次川本町総合計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント)に寄せられた意見の概要と町の考え方

No.	種類	該当 ページ	施策又はプロジェクト名	主な取り組みなど	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	序章		全般		記載内容、表現の仕方についての意見	文言修正等、いただいたご意見を参考に、より分かりやすい総合計画となるよう努めていきます。
2	基本構想	P23	基本理念		理念とは、基本となる大切なことだが、コロコロ変えてもよいものか。これまでの理念はなかったのか。	前回の第5次総合計画には、「つながりやぬくもりを大切にする」、「人を大切にする」という考え方はあったものの、「理念」として取りまとめた項目がありませんでしたので、今回はまちづくりの基本となる考え方、大切にすることを町民の皆様との約束事という意味合いも込めて整理しました。理念は一貫して持ち続ける必要があり、計画改定に伴い毎回変わるものではありませんが、表現の仕方は変革する社会情勢を踏まえ、時代に合ったものに変更する必要があると考えています。
3	基本構想	P33	推進体制		進捗状況について、町民に分かりやすい伝達方法の工夫をお願いしたい。 町民、事業者がこの総合計画を着実に実行できているか実感できるような情報公開をお願いしたい。	P32の推進管理の部分に、町民の皆様に分かりやすい情報提供に努めるという趣旨の文言を追加します。広報紙やホームページ、有線テレビ放送などの媒体を活用して情報提供を行います。
4	基本計画		全般		川本町役場のどの部門が中心となって進めるのか示してほしい。	基本計画は19の基本施策があり、その中に主な取り組みを示していますが、機構改革等により担当部署が変更することもありますので、基本計画に中心となる所管課の記載はしておりません。一方で重点プロジェクトはすべてが複数部署にまたがる事業ですので、役割分担を明確にして推進力を高めることにしています。なお、毎年度作成して町内全戸に配布する当初予算概要説明書「まちの予算」は、構成を総合計画に合わせており、それぞれの所管課を明記しておりますので、こちらも合わせてご確認いただきたく存じます。

第6次川本町総合計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント)に寄せられた意見の概要と町の考え方

No.	種類	該当 ページ	施策又はプロジェクト名	主な取り組みなど	意見の概要	意見に対する町の考え方
5	基本計画		全般		評価指標は別冊で見直しする反面、総合計画の各基本計画の場所にも表示してほしい。	評価指標はPDCAサイクルに基づき適宜見直しをしていく都合上、別冊で管理を考えておりますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。
6	基本計画	P44	公共交通の充実		一定の場所への集中的な移動手段の検討に加え、逆に町民の方へ出かけていくサービスがあってもよいのではないかな。	これまで行ってきた身近な場所での検診の受診環境の継続や社会教育のプログラムを公民館に限らず身近な集いの場で行うなど、行政サービスを身近な場所に出かけて実施します。
7	基本計画	P44	公共交通の充実		生協のように移動販売、宅配等サービス提供者が町民の生活の場に出かけることで効率的に解決するものもあるのではないかな。(移動ATMと移動販売連携など) 一番町民を訪問しているのは宅配業者であり、菓の配達等専門業者との連携を模索してほしい。	P92の重点プロジェクト1「地域運営・たすけあいの仕組みづくり」、集いの場をつなぐ買い物対策をはじめ、事業者と連携した取り組みを模索して進めていきます。
8	基本計画	P45	公共交通の充実	町内公共交通の維持・確保	「多様な移動に対応できるタクシーの維持を図る」とあるように、町内の唯一の事業者なので事業継続に向けて公共交通の一役を担えるような計画を立ててほしい。	平成18年に施行された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー新法)では、タクシーが明確に公共交通機関として位置付けられており、町としても公共交通機関として重要な存在という認識をしております。基本計画に定めた施策を推進し、住民生活の利便性の向上を目指していきます。
9	基本計画	P46	移住・交流の促進		川本町の魅力を発信するために専門業者にランニングイベント(ミニトライアスロン等)を発注してほしい。町外、県外からの参加者に立派な悠邑ふるさと会館を見てもらう。交流の促進が図れる。	P48、観光・交流コンテンツの充実の中で検討します。

第6次川本町総合計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント)に寄せられた意見の概要と町の考え方

No.	種類	該当 ページ	施策又はプロジェクト名	主な取り組みなど	意見の概要	意見に対する町の考え方
10	基本計画	P50	農林水産業の振興		江川漁協の名前は出てくるが、農協、森林組合の名前が出てこない。農協、森林組合との連携も含めてほしい。 農協は有害鳥獣対策として「ピーマン」の栽培に力を入れようとしている。総合計画の中でも農協との連携、ピーマンづくりを入れてほしい。	P51の米の高品質化の推進の部分を、重点プロジェクト4(地域資源を活かした付加価値の創出)、(1)③水田農業の振興に記載している内容との整合性を図り、農協との連携も含めて修正します。 この項目中、水田園芸を進めるうえでピーマンの生産振興も想定していますが、園芸作物はピーマン以外にもあることから、個別の作物名の記載はしておりません。 森林組合との連携は現在も行っておりますが記載がありませんでしたので、林業の振興の部分に追加します。
11	基本計画	P50	農林水産業の振興		草刈り、間伐、放置竹林等の対策で欲しいのは竹チップパーやハンマーナイフモアなどの機械である。チップパーは有機、循環農業にも役立つ。川本町人材センターへの配置や個人で購入する場合の費用の補助などを検討してほしい。	P51の「農地・農業用施設整備の推進」において農業用機械の整備も想定しています。現在も認定農業者や集落営農組織等に施設整備補助を実施しており、これを継続する予定です。 人材センター等に機械を配置することにつきましては、その組織の体制等も含めて検討する必要があると考えております。
12	基本計画	P50	農林水産業の振興		有害鳥獣対策では、山と畑との緩衝帯の設置を県の補助事業である集落周辺里山整備事業で実施している。(3か年計画 上尾原地区)これも有害鳥獣対策の実施項目の一環として取り上げてほしい。	P51の「鳥獣被害対策の推進」の項目に緩衝帯の設置についての記載を追加します。緩衝帯の効果検証や将来的な維持管理についても、島根県や地域の皆様と連携を深めて進めていきたいと存じます。
13	基本計画	P58	起業支援・企業誘致の推進	誘致企業の人材確保支援	せっかくの誘致企業なので、地元住民が雇用されるように支援施策を講じてほしい。	ご指摘の部分の他、施策11の「雇用機会の充実と安定」でも人材確保支援を強化することにしております。企業への定期訪問や意見交換等を通じてニーズを把握し、島根県の人材確保コーディネーターやハローワークとの連携を強化し、人材確保に努めていきます。

第6次川本町総合計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント)に寄せられた意見の概要と町の考え方

No.	種類	該当 ページ	施策又はプロジェクト名	主な取り組みなど	意見の概要	意見に対する町の考え方
14	基本計画	P59	起業支援・企業誘致の推進	株式会社三協の関連企業の誘致の推進	企業と連携した地域貢献、魅力ある地域づくりに取り組みます、とあるが足りていない。	後段部分、企業と連携した地域貢献の部分に「地域住民」も追加して、企業、地域住民、行政が連携した取り組みを強化します。
15	基本計画	P83	インフラ整備・環境対策の推進	都市マスタープラン等の作成	県が策定している都市計画との整合性はどうするのか。	島根県が策定した「川本都市計画区域マスタープラン」に都市づくりの理念、目標、課題、整備方針があり、地域ごとの将来の市街地像が掲げられています。この計画との整合性を図りながら、本町のマスタープラン作成に向け検討を行っていきます。
16	基本計画	P83	インフラ整備・環境対策の推進	下水道の普及促進	現在、町内では三原地域だけで公共施設としての下水道施設があり、他の地域はすべて個人の力で下水管理を行っている。今後の下水処理方法について公共施設として管理運営できるように検討してほしい。	下水道処理につきましては、過去に公共下水道の整備を検討したこともありますが、ハード整備、維持管理経費の財政負担、将来的な人口減少に伴う利用者負担の増加も考えられることから、現在は個人設置型の合併処理浄化槽への補助を行い普及を図っております。設置に係る費用負担の軽減のため、国の補助基準よりも補助率を嵩上げする独自の制度も実施しています。合併処理浄化槽の設置が難しい場所があることも承知しておりますので、普及が進まない要因分析や共同設置型浄化槽の設置等の検討を行っていきたいと考えております。
17	基本計画	P84	インフラ整備・環境対策の推進	公園・子どもの遊び場の充実	三原地区に安全に子どもたちを遊ばせる公園や遊具がなく、三原の子育て世代は、休日片道30分以上かかる町外の公園に行くしかなく、負担が大きい。子どもが健康になり安全に遊ぶことのできる公園と遊具が欲しい。	三原地区に限らず、子育て世帯のニーズに合った公園や子どもの遊び場の再編・整備を進めていく考えです。実際に利用される子育て世帯の皆様の意見を聞きながら事業を進めていきます。
18	基本計画	P84	インフラ整備・環境対策の推進	公園・子どもの遊び場の充実	三原地区は共同の大型の駐車場がなく集まりにくい。移住してきた子育て世代の家庭が多く存在し、車の運転に慣れていない人もあるため、大型の駐車場が欲しい。	実際に地区内のどの場所に駐車場がなくお困りなのか、今後ご意見を詳しく聞きながら検討していきたいと存じます。

第6次川本町総合計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント)に寄せられた意見の概要と町の考え方

No.	種類	該当ページ	施策又はプロジェクト名	主な取り組みなど	意見の概要	意見に対する町の考え方
19	重点プロジェクト	P98	コンパクトタウン弓市の魅力向上	(基本計画P55、旧JR川本駅周辺の利活用の検討の項目も含めて)	町の玄関となる周辺施設なので無人状態は問題だと思う。金融機関と商工会などが共同で入居する複合施設を建設し、有人施設のバスターミナルのような形態としてほしい。	交通結節点となる旧JR石見川本駅周辺はまちの魅力向上を図る上で重要なエリアだという認識を持っています。どのような利活用を進めるか、事業者の皆様や商工会などの関係機関との対話を重ねながら検討していきます。
20	重点プロジェクト	P98	コンパクトタウン弓市の魅力向上		弓市地内での交通安全を図るうえでも早期にJR跡地を利用し、現在の中央大通りの機能を十分に発揮できるような道路建設を計画してほしい。	重点プロジェクトに示したとおり、大型車両の商店街通過の問題解消を図ることは、歩いて暮らせる安心・安全・便利な地区形成のために重要な要素という認識を持っています。一方で道路整備にあたっては、災害時においても避難誘導や物資の輸送を安全に行うことができる幹線道路が確保されることも重要な要素です。災害に強く、地域にとって最も有益な道路網の形成について、島根県をはじめ関係機関との連携を深めながら進めていきます。
21	重点プロジェクト	P98	コンパクトタウン弓市の魅力向上		地域内に点在する空き地に、定年を迎えた世代を対象とした使い勝手の良い広めの2DKとプレハブ倉庫を設置してほしい。高齢者が生活圏を地元においてもらうことで、弓市地内での消費活動につながり、地域のコミュニティ復活の期待が持てる。病院、買い物機能、金融機関等が集中している弓市地区の利点を生かしてほしい。	ご指摘のとおり、弓市地区は病院、買い物場所などの生活機能が集中しており、この機能を最大限に活用しながら魅力を向上することが重要であると考えています。高齢者住宅整備の必要性も感じており、重点プロジェクト3の「コンパクトタウン弓市の魅力向上」において各種事業を推進することにしています。プロジェクトの中で、住宅整備は、暫定堤防となっている江の川堤防の整備に一定の方向性がついた段階で進めていくことにしています。